

町の宝を守り後世へ引き継ぐ 第71回文化財防火デー防火訓練

第71回文化財防火デーに伴う防火訓練が1月26日、国指定重要文化財「旧伊達郡役所」で開かれ、町消防団や一般参加者ら約100人が訓練に参加しました。

1月26日の「文化財防火デー」に合わせて行われた当訓練。旧伊達郡役所の2階バ

ルコニー付近から火災が発生

したことを想定し、避難誘導や通報、消防署・消防団による放水訓練が行われ、消化体制を確認しました。一般参加者や伊達地方少年消防クラブの皆さんによる消火・放水体験なども行われ、防火意識の向上を図りました。



1_町消防団や消防署による放水訓練 2_初期消火の要！消火器使用訓練 3_伊達地方少年消防クラブの皆さんも放水体験

町民の健康保持・増進に向けて (株)バイタルネットと協定締結

町と株式会社バイタルネットによる「包括連携に関する協定」の締結式が2月6日、役場で行われました。この協定は、「ヘルスアップタウンこおり」宣言のもと、町民の健康保持・増進を目的に、医薬品卸売業をメイ

ン事業に、地域に根差したヘルスケアインフラ構築に貢献している株式会社バイタルネットとの連携強化を図るものです。高橋町長は「双方の資源やノウハウを活用し、より効果的な事業展開を実施する」と話しました。



▶協定書を手にする高橋町長（左）と田口健一福島支店長

町の交通安全活動に尽力 八木沼與一郎さんに交通荣誉章

長年にわたり地域の交通安全活動に尽力し、多大な功績のあった人に贈られる（一財）全日本交通安全協会交通荣誉章「緑十字金章」を、桑折地区交通安全協会会長の八木沼與一郎さんが受章しました。

八木沼さんは2月4日、役場を訪れ、高橋町長に受章を報告。高橋町長は「約30年にわたり、地域の交通事故防止などの交通安全活動に尽力されたことに感謝と敬意を表する」と多大なる功績をたたえました。

もしも火災が起きたら―― 女性消防隊による幼稚園防災教室

町女性消防隊による防災教室が1月20日、釀芳幼稚園で行われました。教室では、火事が起きたときの行動について覚えてほしいことをテーマにクイズを出題。火事が起きたら「火事だ！」と大声で周りの人に知らせる

ことや安全な避難のための非常口マークの確認、服に火がついてしまったときの対処法など、実演を交えながらみんなで考えました。園児らは、火の怖さを想像しながら、隊員と一緒に防災について学びました。



▶女性消防隊の話聞き防火意識を高める園児の皆さん

毎年恒例の鬼退治 保育所・幼稚園で節分の日の豆まき

1年の無病息災と心の成長を願い、釀芳保育所・幼稚園で、毎年恒例の豆まきが2月3日に行われました。保育所では、金棒を振り回しあばれる大きな赤鬼が現れると、テラスで待ち受けていた子どもたちが、豆に見立てた球を一生懸命に投げて鬼を追いかけていきました。

ました。幼稚園では、はじめに豆まきの由来を描いた紙芝居を鑑賞。その後、3体の鬼が園庭に現れると、手作りの鬼のお面を被った園児らが鬼を取り囲み、勢いよく豆を投げつけました。「鬼は外！」という元気いっばいな声とともに、鬼は去っていききました。



▶どんな声かけが良いのか実践しながら学ぶ児童たち

地域で見守ろう！ 認知症サポーター養成講座

健康福祉課と地域包括支援センターによる「認知症サポーター養成講座」が1月17日、陸合小学校で行われました。参加した6年生は、認知症の症状を学び、「こんな時はどう声をかける？」など認知症の人への接し

方などをグループで話し合い、理解を深めました。最後にサポーターの証であるオレンジリングを受け取り、キッズサポーターとなった児童たちは「認知症の人に寄り添っていきたい」など力強く話しました。

